

令和5年度 寺岡小学校 6学年 教育プラン

学校教育目標

心豊かで 自ら学び たくましく生きる子供の育成

めざす子供像

自ら学び続ける子供

<育てたい資質・能力>

- ① 学び合うことができる
- ② 人・こと・ものとの関わりを通して課題解決に向かう
- ③ 生活や他者と結び付けて学習を発展させる

明るく思いやりのある子供

<育てたい資質・能力>

- ① 自他の良さを知っている
- ② 相手の気持ちを考えた行動がいつでもできる
- ③ 互いを認め合い、協力・協働ができる

心身ともにたくましい子供

<育てたい資質・能力>

- ① 守るべき約束やルールが分かる
- ② 健康・安全に気を付けて生活をする
- ③ あきらめずに挑戦する(◎)

<重点的な取組>

- ① 多様な意見を聞くことで自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにするために、友達の意見を聞く、自分の意見を伝える経験を重ね、「みんなで学ぶ良さ」を実感させる。(◎)
- ② 人と関わる力や情報活用能力を身に付け、自ら課題解決に向かう力を育てるために、ICTを活用しながら、意見の交流を行ったり主体的に調べたりする学習を取り入れる。
- ③ 学習したことを身近に捉え、生活でも生かそうとする意欲を持たせるために、学習内容と自分の生活を関連付けて考えさせる場面を設ける。

<重点的な取組>

- ① 友達の良さを考えるとともに、自分の良さに気付くことができるようにするために、帰りの会や道徳、図画工作などにおいて、友達の良さを認める活動を行う。
- ② 互いを尊重することを意識させるために、一人一人が違うことを理解させ、個性や良さを認める活動を取り入れる。
- ③ みんなで力を合わせて一つのことを成し遂げる達成感や心地よさを味わわせるために、行事などの取り組みを通して全員で一つの目標に向かって協力して頑張ろうとする意欲を持たせる。(◎)

<重点的な取組>

- ① 約束やルールを自ら守ろうとする態度を育てるために、社会で学習する基本的人権を基に、皆が気持ちよく生活するための約束やルールが必要であることを理解させる。
- ② 体力の向上を図るために、外遊びを勧め、体育の授業を工夫するとともに、運動会や陸上記録会などの行事を活用する。
- ③ あきらめずにねばり強く挑戦する意欲を育てるために、行事や係・実行委員活動において一人一人が活躍する場を設け、教師や友達に認められることで自身を持たせ、自己肯定感を高める。(◎)

協働型学校評価の重点目標

【目標を持ち、挑戦する子供の育成】

学習場面で

人との関わりで

ねばり強く